■　変形性膝関節症　■

✓多くはひざの内側の軟骨が変性、摩耗し、ひざ関節の内側が痛む疾患です。

✓加齢、肥満、骨粗鬆症、関節リウマチなどが原因となり、男性よりも閉経後の女性に多く見られます。

✓進行すると徐々にO脚となり歩行の障害となります。

レントゲン画像

進行期

末期

治療法（軽度～重度に応じて）

① 保存療法

鎮痛剤、筋力訓練、関節注射、装具療法、再生医療(自費)

② 関節温存術（骨切り術）

O脚を矯正し、負担のかかる部位を内→外側(健側)へ移す

術前

→

人工骨を挿入し
金属で固定

術後

→

内側の軟骨が
再生

術後2年

③ 人工膝関節全置換術

術前

術後

最小侵襲手術（筋肉の切離が最小限）

従来法

最小侵襲

入院・手術・退院　までの流れ

① 外来で手術方法を医師と相談して決める。
② 術前検査（採血、心電図、呼吸機能検査）
③ 手術日の前日に入院
④ 手術当日（手術は2時間程）
⑤ 翌日から曲げ伸ばし訓練、歩行訓練を行っていきます。

痛みが治まり、自力歩行可能になったら退院。
（人工膝関節では術後３週間、骨切り術では術後4週間程）

✓膝の痛みでお悩みの方は是非一度、外来へお越しください。
✓保存療法から手術療法まで提案します。
✓当院の人工膝関節全置換術は基本的に最小侵襲法です。

久米川病院　整形外科　阿部 一雅
042-393-5511 東京都東村山本町4-7-14